



2024年4月22日  
一般社団法人日本パラ水泳連盟

## お知らせ

# 東洋大学との包括連携協定を締結

(一社)日本パラ水泳連盟(会長:河合純一)は、4月1日(月)、東洋大学(所在地:東京都文京区、学長:矢口悦子)と、包括連携協定を締結いたしました。これは、当連盟 第2期中・長期ビジョンに基づくものでもあります。

東洋大学と当連盟が連携協力のもと、相互の資源を活用することにより、人材育成および学術の発展に寄与するとともに、活力ある共生社会の実現を図ることを目的としており、先ず、福祉社会デザイン学部と健康スポーツ科学部と教育・研究に関する連携活動を推進してまいります。

この協定に基づき、4月16日(火)に東洋大学から矢口悦子学長と当連盟からは中森邦男理事長が出席し東洋大学 赤羽台キャンパスにて協定締結の調印式が行われました。



右:東洋大学 学長 矢口悦子

左:(一社)日本パラ水泳連盟 理事長 中森邦男

東洋大学と包括連携協定に至った経緯として、東京2020パラリンピック開催後(2021年)、当連盟の河合純一会長と岸本太一ヘッドコーチが東洋大学で授業を受け持ったことに始まります。さらに、当連盟所属の田中映

伍選手が一昨年、東洋大学に入学したことで、両者の連携はこれまで以上に密接になりました。

この協定は当初、福祉社会デザイン学部と健康スポーツ科学部との連携協定を検討しておりましたが、矢口学長から、多様性の理解や、両者の特長を生かした教育・研究活動は、全学に共通することであるというお考えから、大学全体と連盟との包括連携協定へと発展しました。

#### 具体的な連携事項

- ① 知的・人的資源の活用に関すること
- ② 共同して行う学術交流に関すること
- ③ 共同して行う事業の推進に関すること
- ④ その他連携協力を推進するために必要と認めること

矢口学長:「本校の歴史からも、社会福祉を大切にしていまいりました。学生たちが講義や田中映伍君を通して、初めて得ることや、感動を与えられるチャンスがたくさんあると思います。これらが教職員にも刺激となり、研究活動にも活かされるのではないかと思います。日本パラ水泳連盟との連携協定は、これからの当校の在り方にも大事な視点をいただけるものと、期待しています。」

中森理事長:「私は、スポーツにかかわる団体も行政も健常者と障がい者を分けるのではなく、一つになることを理想と考えています。この連携協定を通じて、理想に近づける知見を得ることができ、専門家や学識経験者を育て、結果として障がい者スポーツの発展が期待できるのではないかと。」

この調印式には福祉社会デザイン学部の水村容子学部長、健康スポーツ科学部の齊藤恭平学部長、福祉社会デザイン学部2年生で、パリ2024パラリンピック水泳競技日本代表に内定の田中映伍選手も出席いたしました。

なお、今後の活動は、東洋大学と協議してまいります。